

兵庫県但馬水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) TKD-07-01 号

令和7年5月28日発行

プランクトン及び貝毒検査を5月26日～28日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒検査(5/28)の結果、今回検査した地点では麻痺性貝毒は検出されませんでした。
- ・貝毒の原因となるプランクトンは確認されませんでした。

【検査結果】

年月日 (採水・採取)	R7.5.26	
地 点 (St.)	浜坂	
貝類の毒化状況	麻痺性貝毒[MU/g]	ND
麻痺性貝毒原因プランクトン	アレキサンドリウム カ テ ネ ラ (旧称) <i>Alexandrium catenella</i> (新称 At complex (旧) <i>A. catenella</i>) (細胞/mL)	0
下痢性貝毒原因プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (細胞/mL)	0
	ディノフィシス アキューミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (細胞/mL)	0

※NDとは検出限界値(2.0 MU/g)未満のことです。※プランクトンは海水を濃縮して検鏡した密度です。



＜規制の基準＞

可食部の毒量が、
麻痺性貝毒: 4 MU/g
下痢性貝毒: 0.16mg オクタ酸当量/kg } を超えた場合

＜注意が必要なプランクトン密度＞

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ
(旧称) *Alexandrium tamarense* 5 細胞/mL 以上

アレキサンドリウム カ テ ネ ラ
(旧称) *Alexandrium catenella* 20 細胞/mL 以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50 細胞/mL 以上

※プランクトン密度の単位は細胞/mLと表記。(海水 1 mL あたりのプランクトン細胞数)(mL:ミリリットル、1 mL は 1 L の千分の一)

※2020年4月以降の貝毒原因プランクトン*Alexandrium* 属種の名称(呼称)について、(国研)水産研究・教育機構瀬戸内海区水産研究所(現 水産技術研究所(廿日市拠点))が提案した呼称に従った表記に変更しています。詳しくは水産機構の関係資料ウェブサイト(<http://feis.fra.affrc.go.jp/plankton/douteirai/alexandriumindex.html>)をご参照ください。

その他、貝毒については関係資料ウェブサイト(<https://www.hyogo-suigi.jp/wp-content/uploads/2020/11/kaidoku.pdf>)をご参照ください。

【今後の情報予定】

・6月上旬に調査を予定しています。調査結果がまとまり次第、「貝毒情報」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 §

兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 中村 Tel: 0796-36-0395)

兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・峰、渡邊 Tel: 0796-36-1153)

ホームページ: <https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/>